

令和4年度第2回狭山市廃棄物減量等推進審議会会議録

開催日時 令和5年2月10日（金）～令和5年2月22日（水）

開催方法 書面開催（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため）

出席者 野平委員、小川委員、岡村委員、横山委員、田口敏幸委員、指田委員、鍋谷委員、中村委員、田口すみ子委員、奥本委員、鎌田委員、丸山委員、山梶委員、山口委員、川内委員 以上15名

事務局 資源循環推進課

議 題

（1）令和5年度一般廃棄物処理実施計画（案）について

意見等

委員 令和5年度一般廃棄物処理実施計画実施計画（案）2ページ、事業系プラスチック計画量0とありますが、市のホームページを見たところ事業系で出たものは産業廃棄物、従業員の個人消費のものは持込可とありました。持込可のものが1t未満なのか、分別されていないという事でしょうか。

事務局 令和5年度実施計画（案）の年間計画量につきましては、令和4年度4月から12月の実績及び令和3年度1月から3月の実績を基に算出したもので、2ページの事業系プラスチック0（t/年）につきましては、事業系一般廃棄物としている従業員が個人消費したプラスチックの持込量となっています。実績は1トンに満たないことから、令和5年度の計画量0（t/年）となっているものです。

委員 令和5年度一般廃棄物処理実施計画実施計画（案）2ページ、生ごみについて、昨年度は事業系0t、家庭系128t、計128t、今年度は事業系12t、家庭系107t、計119t、少ないと思われませんが。

事務局 生ごみリサイクル事業の回収量につきましては、生活スタイルの変化に伴い外食やテイクアウトが増加していること、高齢化による食べる量の減少など、平成17年度をピークに年々減少傾向にあります。令和5年度実施計画（案）の年間計画量につきましては、令和4年度4月から12月の実績及び令和3年度1月から3月の実績を基に算出したもので、前年度の令和4年度実績の125tから6tの減少見込みとなっています。今後も広報紙や公式ホームページ、ごみ分別アプリを活用するとともに、回収した生ごみから生成された堆肥（一次生成物）のイベント等での無料配布、事業参加世帯への

還元配布、自治会の会議や行事等の機会を捉えて、事業の意義や効果を説明し参加世帯、回収量の拡大を図ってまいります。

その他意見等

委員 我が家では燃やすごみの半分以上の重量が生ごみでした。5年程前より生ごみ（卵のカラ、揚げ油、米ぬかも利用）の殆どを堆肥作りに利用しています。温度や湿度の管理は大変ですが、良い堆肥ができ今年度は、いこいの広場を借りて、枝豆、とうもろこし、大根、葉物等、12種類の有機野菜を栽培できました。条件が揃わないとできませんが、思った事は「燃やさなくて良い物を燃やしている」でした。

事務局 生ごみのリサイクルに取り組む好事例として、普及啓発の際に、ご紹介させていただきます。

委員 収集運搬のところで、高齢者などゴミ出しが不可能な場合は戸別収集とするとなっておりますが、この情報はどのくらいアナウンスされ、どのくらいの方が利用されているのでしょうか。今後、ガス、電気の価格が大幅に値上がりしていくと思われませんが、処理にかかる経費の確保などは、有償化については。（ゴミの減量化にメリットもあるのでは）

事務局 高齢者などの戸別収集については、高齢者支援課で収集業者と委託契約を結んで実施しています。収集対象には一定の要件を設けていますので、問合せがあった際には、担当課をお知らせしています。エネルギー価格高騰につきましては、施設の運営に支障が無いよう予算確保に努めてまいります。家庭ごみの有料化は、ごみの排出抑制やリサイクルの促進、排出量に応じた負担の公平性及び意識改革などが目的であると認識しております。こうしたことも念頭に置いて、また市民生活に与える影響も大きいことから、社会経済情勢や近隣市町の動向などを総合的に勘案して、慎重に検討していく必要があると考えています。

配付資料

- ・令和4年度第2回廃棄物減量等推進審議会 議題概要
- ・令和5年度一般廃棄物処理実施計画（案）【資料1】
- ・令和4年度第2回狭山市廃棄物減量等推進審議会意見書